

新たな金融ビジネスの  
創造へ向けて

EY Japan 銀行・証券セクター

# これからの 金融ビジネスとは？

EYはあらゆる経営課題への  
挑戦を支援します

金融とテクノロジーを融合した新たなサービスの出現、少子高齢化の進展や未曾有の低金利環境の継続、新型コロナウイルス感染症の世界的流行と生活様式の変化などにより、銀行・証券業界は大きな変革の時代を迎えています。

既存の金融機関には、従来型のビジネスモデルから脱却し競争優位性を確保することが求められています。一方で、革新的なアイデアを持つ企業にとっては、業界に参入する大きなチャンスです。

EY Japanの銀行・証券セクターでは、大手金融機関や地域金融機関、新規参入者が直面するさまざまな課題の解決を支援しています。

ビジネスとリスクに精通したEYのプロフェッショナルが、グローバルと地域特有の経営課題解決に向けた総合的なサービスを提供し、デジタル・トランスフォーメーションやサステナビリティ、イノベーションの推進など「Next, Beyond(次、さらにその先)」への対応も後押しします。

変革の時代を乗り越えるために——。  
私たちは信頼の置ける最適な  
パートナーとして、クライアント  
の皆さまの潜在的なビジネス  
チャンスの具現化を支援します。



## 金融サービスの多様化

金融業そのものの社会インフラとしての重要性はますます高まっています。

その一方で、金融サービスは、伝統的金融機関だけでなく多様なプレイヤーからも提供されています。

事業者

### FinTech + 金融機関

提携による金融サービスの高度化

### 金融機関 + 非金融事業者

例: ネオバンク(BaaS)、チャレンジャーバンク

提携による新規金融サービスの提供

### FinTech + 金融機関 + 非金融事業者

例: UX強化による顧客囲い込み、ポイントサービス連携、  
仲介手数料収入

提携による新規金融サービスの提供

### FinTech + 非金融事業者

セクター例: 自動車・製造、情報通信、小売・流通・交通、宿泊・飲食、  
エネルギー、政府・自治体


提携による新規金融サービスの提供


### FinTech


単独による金融サービスの提供


昨今の金融サービス ※主要な例

 **預金** ▶ 給与デジタル払い

 **資産管理・運用** ▶ ロボアドバイザー  
▶ 仮想通貨  
▶ PFM

 **証券ビジネス** ▶ CFD  
▶ OTC  
▶ FX

 **融資調達** ▶ トランザクションレンディング  
▶ AIスコア  
▶ P2Pレンディング  
▶ クラウドファンディング  
▶ 給与前払い

 **決済** ▶ バーチャルクレジットカード  
▶ QR決済  
▶ 個人間送金(割り勘)



事業者



一般消費者  
(自社顧客)

高

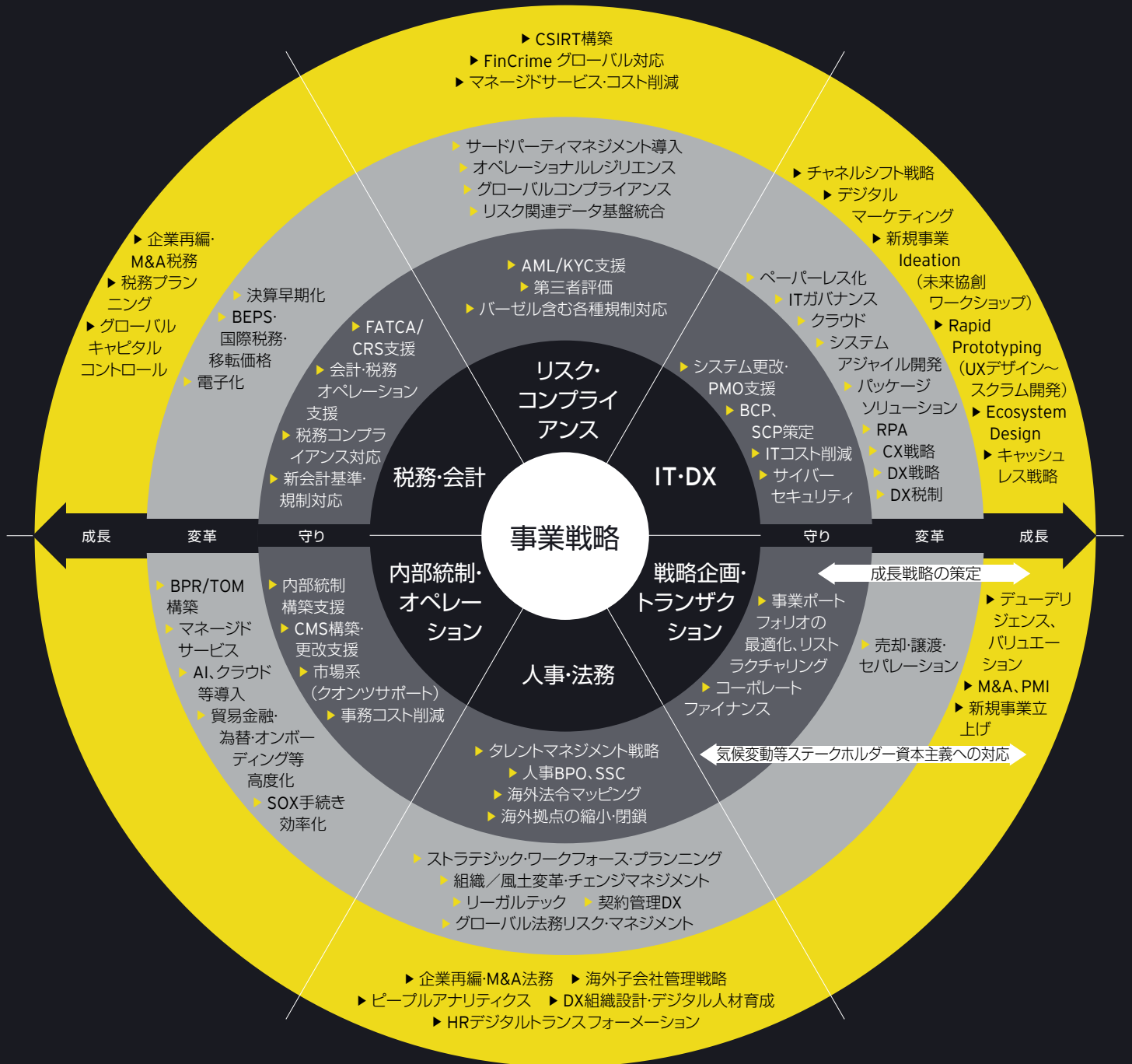
参入難易度

低

# 取り巻く経営アジェンダとEYのソリューション

金融サービスやその提供チャンネルは、ますます多様化する可能性があります。

金融機関や事業者は、それぞれの置かれている環境や戦略の下、それに応じた課題（経営アジェンダ）に対して継続的に対応していくことが求められます。



# Why EY?

EYはグローバルレベルで連携しているプロフェッショナル・サービス・ファームです。一貫したガバナンス構造を有する先進的な組織としてグローバルに統率された各チームは、団結しながら迅速かつ先見性のある意思決定によって、クライアントの皆さまに最高のサービスを提供しています。

EYはアシュアランス、税務、ストラテジー・アンド・トランザクションおよびコンサルティングの主要4分野における世界的なリーダーであり、世界150以上の国と地域で700以上の拠点を有し、共通の価値観を持つ約30万人のプロフェッショナルが在籍しています。

## FSOと銀行・証券セクター

EY Financial Services Organization (FSO) は、金融業向けのプロフェッショナル・サービスを提供するグローバル横断の専門集団です。グローバルで3万3,000名以上のプロフェッショナルを擁し、主に4つのサービスライン（アシュアランス、税務、ストラテジー・アンド・トランザクション、コンサルティング）で各種サービスを提供しています。

FSOで、主に銀行業および証券業を担当する銀行・証券（BCM：Banking & Capital Market）セクターは、各業態固有のナレッジを効果的かつ効率的に蓄積し、共有できる体制を構築しています。

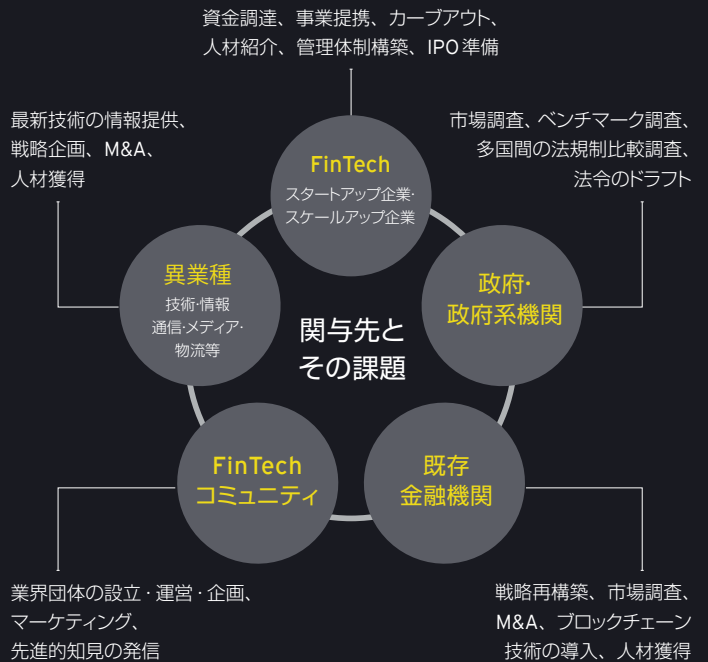
銀行・証券セクターでは大手銀行、大手証券会社、信託銀行、地域銀行、その他銀行、協同組織金融機関の中央機関、協同組織金融機関のほか、リース会社、カード会社、信販会社などにコンサルティング業務や会計監査業務を提供しています。

## FinTechへの対応

テクノロジー業界の知見 × 金融業界の知見 = FinTechへの対応

EY JapanのFSOでは、セクター横断型組織「FinTechセンター」を立ち上げました。会計士やIT、規制に関する専門家から構成され、Fintech協会、日本暗号資産取引業協会、日本STO協会といった業界団体とのネットワークを生かしながら、FinTechを活用した金融機関やスタートアップ企業と真摯に向き合い、業界全体の健全な成長を支えています。

FinTechスタートアップ企業のIPO監査や、ブロックチェーンといった最新技術を活用したデジタルトラストの保証業務などの提供を通じ、新しい金融プラットフォームや金融機関におけるイノベーションの促進に向けた取り組みを支援します。



## EY | Building a better working world

EYは、「Building a better working world(より良い社会の構築を目指して)」をパーパスとしています。クライアント、人々、そして社会のために長期的価値を創出し、資本市場における信頼の構築に貢献します。

150カ国以上に展開するEYのチームは、データとテクノロジーの実現により信頼を提供し、クライアントの成長、変革および事業を支援します。

アシュアランス、コンサルティング、法務、ストラテジー、税務およびトランザクションの全サービスを通して、世界が直面する複雑な問題に対し優れた課題提起(better question)をすることで、新たな解決策を導きます。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、[ey.com/privacy](http://ey.com/privacy)をご確認ください。EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供することはありません。EYについて詳しくは、[ey.com](http://ey.com)をご覧ください。

### EY Japanについて

EY Japanは、EYの日本におけるメンバーファームの総称です。EY新日本有限責任監査法人、EY税理士法人、EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社などから構成されています。なお、各メンバーファームは法的に独立した法人です。

詳しくは[ey.com/ja\\_jp](http://ey.com/ja_jp)をご覧ください。

© 2021 EY Japan Co., Ltd. All Rights Reserved. ED None

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスを行うものではありません。EY Japan株式会社および他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

[ey.com/ja\\_jp](http://ey.com/ja_jp)



EY Japan銀行・証券セクターに関する最新の情報は、QRコードからご確認ください。

[ey.com/ja\\_jp/banking-capital-markets](http://ey.com/ja_jp/banking-capital-markets)